

IMS Japan Conference 2018

日本におけるIMS技術標準の導入状況  
QTIを採用した事例の紹介

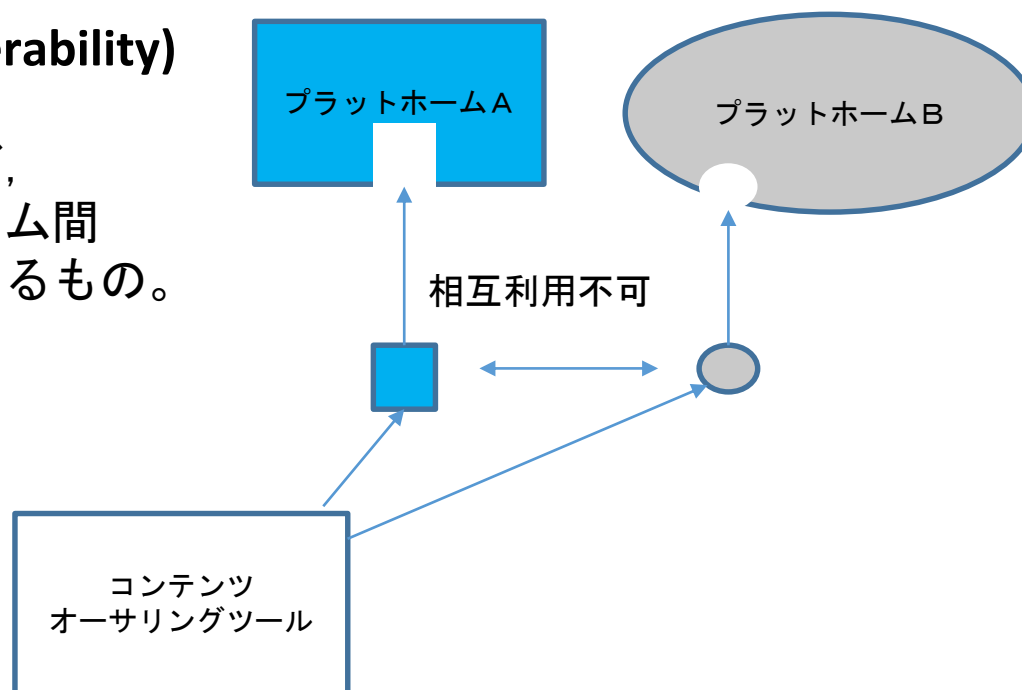


株式会社インフォザイン  
永井

## QTI (Question & Test Interoperability)

アセスメントやテスト，クイズ，  
様々なオンラインテストシステム間  
でデータの相互利用を可能にするもの。

QTIを採用していない場合



- Instructure Canvas
- Northwest evaluation Association NWEA
- BPS ONYX
- Public Consulting Group PCG
- Houghton Mifflin Harcourt
- Questar Assessment
- Progress Testing
- SchoolSpire
- **Open Assessment Technologies(OAT) TAO**
- Pearson Education TestNav
- Performance Matters Unify

- 開発元 : **OAT社**

Open Assessment Technologies

ルクセンブルグ

[www.taotesting.com](http://www.taotesting.com)



- 国内サポート : 株式会社**インフォサイン**

OAT社の日本の正規パートナー

[www.infosign.co.jp](http://www.infosign.co.jp)



## 特徴

1. 大規模同時テスト対応
2. D&Dで直感的な問題作成
3. 国際標準規格対応

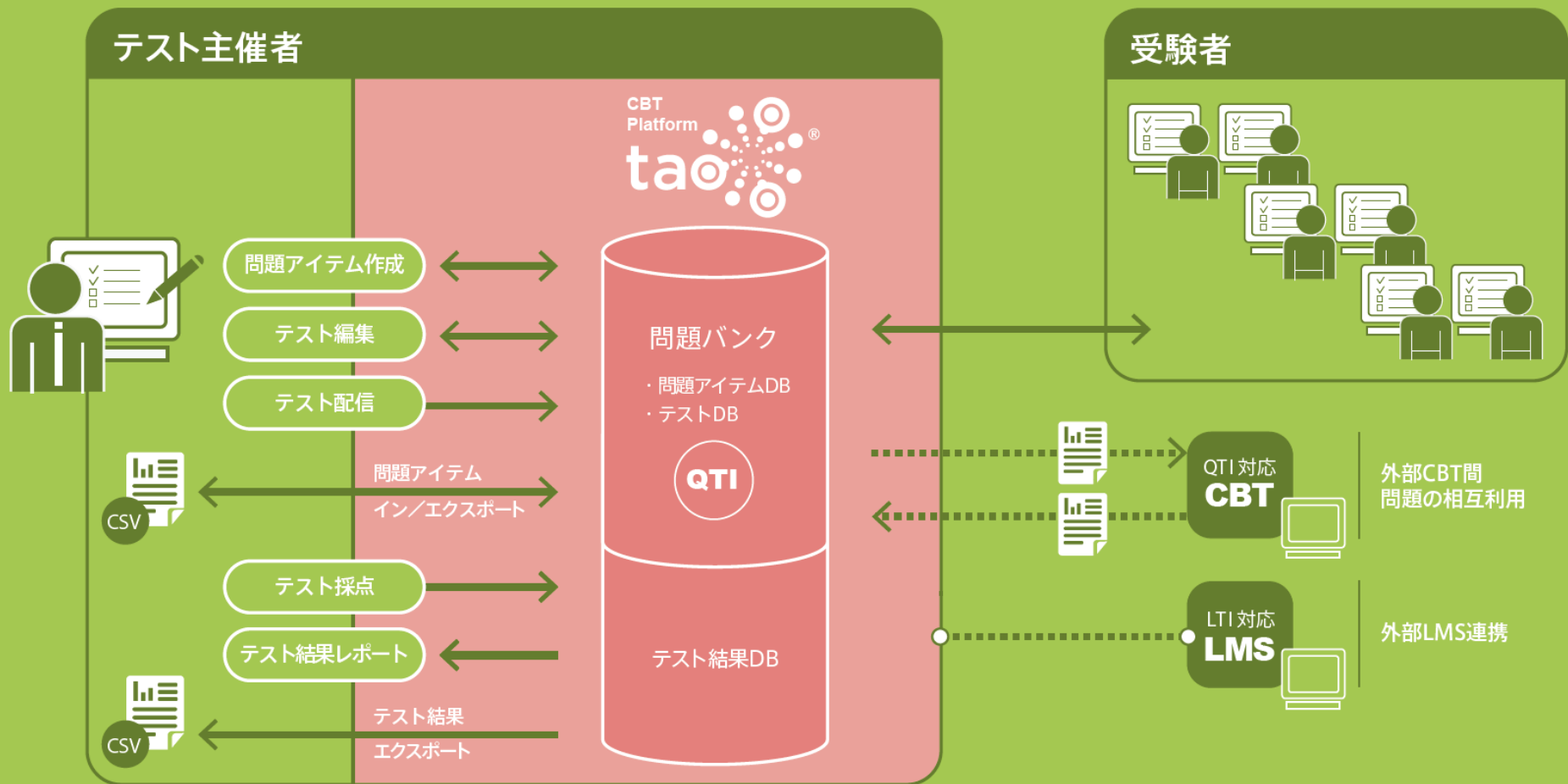
### QTI 対応

- 問題と解答形式の規格
- テストや問題の再利用性を確保

### LTI (Learning Tools Interoperability) 対応

- 学習ツール間の接続に関する規格
- 他のシステム(LMS等)にTAOのテスト機能を埋め込める

# TAO | 全体概要図



QTI, LTI規格に準拠し

問題・テスト作成から、実施（デリバリ）、採点（リザルト）までをサポート

# 文部科学省 英語予備調査

TAO | 事例

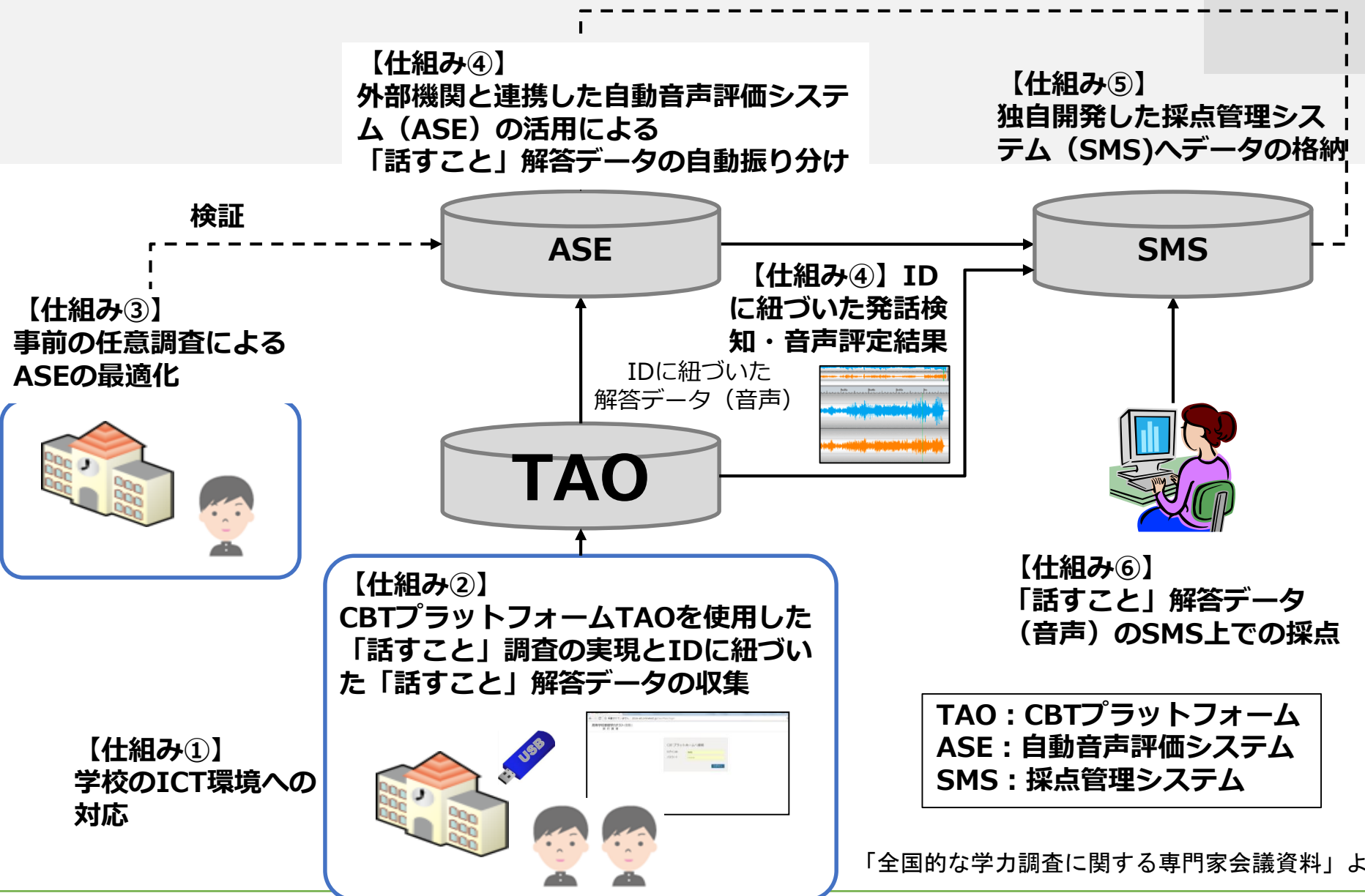
1

# 文部科学省 英語予備調査

- 実施期間
  - 2018年5月1日（火）～5月31日（木）
- 対象
  - 全国136校，規模と立地をもとに抽出
  - 中学校3年生約2万人に対して実施
- 英語4技能調査のうち「話すこと」調査をCBTで実施
  - 基本的に，学校に既設されたPC教室の端末を利用して実施
  - USBメモリでデータの配布，回収を行う
- ITEMをQTIでオーサリング，音声録音をPCIモジュールを作成し実施

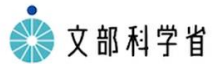


# 「話すこと」調査の仕組み



「全国的な学力調査に関する専門家会議資料」より

# 「話すこと」調査 CBT画面



話すこと調査

答案番号(7けた)

整理番号(3けた)

調査開始

# フランス教育省DEPP 学カテスト

TAO | 事例

2

# フランス教育省DEPP 学カテスト

- 2017年11月
  - フランスの中学校1年生の学力評価の悉皆テスト
  - 83万人に対して実施
  - 実施期間3週間程度
  - 全てOnlineで実施
- TAO選定の理由
  1. オープンソース
  2. 大規模対応
  - 3. QTIサポート**
  4. PBTに比して, コスト削減
- 今後**PCI**(Portable Custom Interaction)アイテムの拡充
- 全児童・生徒対象も視野にできる

- QTIにAPIP(Accessible portable item Protocol),PCI(Portable Custom Interaction)を結集する
- W3CアクセシビリティとWebスタンダードとの連携
- 一貫性のあるレンダリングの向上
- 他のIMS仕様との相互運用性を向上
  - LTI,Caliper Analytics
- Computer Adaptive Testingのサポート

ご清聴ありがとうございました。



株式会社インフォサイン